Funabashi Municipal Medical Center News

船橋市立医療センターNews No.24

●発行年月日/平成27年4月1日　●編集/船橋市立医療センター広報委員会　●発行責任者/院長　髙原　善治
〒273－8588 船橋市金杉1－21－1　☎047－438－3321㈹　http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/

「ネモフィラ」（茨城県）当院職員撮影

医師卒後臨床研修の充実

船橋市立医療センター院長　髙原　善治

医師臨床研修制度により、医師として基本的な診療能力を養う目的で平成１６年より卒後２年間の初期研修が必修化されました。当院ではこれに先立ち平成９年に臨床研修病院の指定を受け、医学部を卒業してすぐの医師たちの初期臨床研修を積極的に行ってきました。現在は１２名/学年の初期臨床研修を行っています。このほど、特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構の審査を受け、認定基準を達成していることが認められ認定証を授与されました。これは研修の質を保証する認定証で、千葉県内では数病院しか取得していません。次の時代を担ってくれる医師たちの教育は、今後進むとされる超高齢社会を乗り切るためにも重要な点と考えており、更に充実を図っていきたいと思っています。３月には１１名の初期臨床研修医たちが研修を終え、４月には１２名の新たな研修医を迎えます。

３月末に中野副院長兼看護局長、小安薬剤局長、畠山臨床検査科技師長が退任され、新年度を迎えて４月から伊藤看護局長、菅原薬剤局長、高橋臨床検査科技師長が就任されました。院内の重要な複数部署の長が交代になりましたが、これからも変わりなく、チーム医療の推進と市民の健康のために邁進（まいしん）していきたいと思います。

目次

院長あいさつ…… 1
病院事業管理者あいさつ／人事異動紹介…… 2
退任者あいさつ…… 3
新任者あいさつ…… 4
卒後臨床研修の認定／研修医のつぶやき…… 5
栄養面から患者さんをサポート…… 6～7
第21回　公開医療講座／第8回　がん市民公開講座 …… 8
救命救急センターの現場から／日本赤十字社から表彰!!
／看護師募集…… 9
外来担当医師一覧表…… 10

病院事業管理者あいさつ ～平成27年度を迎えて～

船橋市病院事業管理者　鈴木　一郎

当院ではACU病床やSCU（脳卒中ケアユニット）病床を設置し、救急医療体制を強化してきました。さらに、病棟薬剤業務実施加算を取得するなどチーム医療の推進にも取り組んできました。また、26年度は診療報酬改定、地方公営企業新会計制度への移行、医療・介護一括関連法案が成立したことによる病床機能報告制度の開始など、大きな制度改革が行われ、市政においても地域包括ケア推進本部の設置、新病院建設のための基礎調査が開始されるなど、いま当院は大きな変化に直面していると言えます。

そのような中、27年度は26年度までの中期経営計画が終了し、新たな中期経営計画（3か年）がスタートする年となります。今回の計画では、当院が高度急性期病院として確立するために取り組むべき事項を重点課題として掲げました。国が2025年に向けて、病床の機能分化、医療と介護の連携強化による効果的で効率的な医療・介護サービスの提供体制の構築を進めている中で、当院が高度急性期病院として位置づけられるためには救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院等の役割をより充実させ、今後の診療報酬改定で示されていく厳しい条件をクリアしていかなければなりません。また、患者さんが安心して入退院ができるよう、医療機関だけでなく介護施設等も含めた地域医療連携の強化を図ることも重要な課題です。そのためにも船橋地域医療介護連携研究会を開催し、意見交換を図るほか、現在の検査予約センターをより充実させ、ドクターエイドをはじめ、看護師、薬剤師がチームとなり、さらなる患者サービスの向上に努めます。

昨年度末には病院の建替えに関する報告書が示されました。当院としては将来的な病院の建替えを見据え、引き続き「良質な医療の提供」、「安定的な経営の確保」を目標とし、職員一丸となって取り組んで行きたいと考えています。

人事異動紹介（4月1日）

	新任者	退任者
診療局技監	薬丸　洋秋	
薬剤局長	菅原　克也	小安　勝
副薬剤局長	鐘司　光貴	菅原　克也
臨床検査科技師長	高橋　久雄	畠山　郁夫
総務課長	長島　由和	太田和　進

看護局	新任者	退任者
看護局長	伊藤　淳子	中野由紀子
副看護局長	武村　妙子	佐藤　節子
医療安全管理室副室長	石井　洋子	和田　弘子
A4病棟師長	山田　綾子	武村　妙子
A7病棟師長	池崎　陽子	冨迫　里美
B6病棟師長	冨迫　里美	宮嶋　明子
E3病棟師長	宮嶋　明子	石井　洋子
外来師長	庄田　由美	森岡しずか

診療科名	採用者				退職者			
消化器内科	石垣　飛鳥	嶋　由紀子			今関　洋	兒島　隆太		
循環器内科					池田　篤史			
小児科	竹本　直輝	高橋　香	白鳥恵理佳		升田　真依	河内　遼		
外科	野手　洋雅	仙波　義秀	澤田　尚人	鈴木　啓介	山本　悠司	大塚　亮太	柳原　章寿	横山　将也
乳腺外科					佐塚哲太郎			
整形外科	菅野　真彦	谷口　慎治			金元　洋人			
形成外科	後藤　広和				佐藤　宗範			
脳神経外科	新美　淳	田坂　研太			鈴木　健也			
心臓血管外科	野村　亜南	若林　豊	藤井　政彦		松浦　馨	小笠原尚志	乾　友彦	
泌尿器科	安藤　敬佑				武井　亮憲			
産婦人科	山中　善太				忽那ともみ			
耳鼻いんこう科	木村健太郎							
麻酔科					武光美香子			
救命救急センター					三浦　剛史			

※嘱託医、初期臨床研修医は除く

退任者あいさつ

副院長（兼看護局長）　中野　由紀子

看護師として40年余りの月日が過ぎ、医療センターで最後の5年間を勤務させていただき3月31日で退職致しました。救命救急センターと高度医療を担う総合診療施設等の役割を担うためには看護師の確保が急務であり、この4年間で約100名の看護師の増員をすることができ病院運営に貢献できたと思います。また、教育専従看護師を配置し、看護職員全体の教育体系の見直しを行い、今後も拡大する病院の機能を担える看護師を育成するとともに、これから加速する高齢化に向けて退院調整看護師を2名にして、退院後も患者さんの医療サービスをつなぐことができるよう努力しています。今後も医療センターのますますの発展と皆様のご健闘をお祈り致します。

薬剤局長　小安　勝

この度、3月31日をもちまして定年退職致しました。
昭和58年7月に採用され、開院の準備段階から業務に携わることができました。宮村薬剤部長以外は皆20代の若い薬剤師ばかりでしたので、従来の病院薬剤部にとらわれない新しい業務を進めていこうという機運に満ちていました。開院前日は全員で夜12時近くまで最後の調整をしたことを懐かしく思い出します。あれから31年、薬剤師の仕事も大きく変わり、医師の処方箋に基づいて調剤だけを行う業務から、患者中心の業務に変遷しています。医療の現場に常に薬剤師がいて、患者中心のチーム医療に貢献できることを願うとともに、医療センターの益々の発展をお祈り致します。

臨床検査科技師長　畠山　郁夫

3月31日をもちまして定年退職致しました。開院の年（昭和58年）の5月に採用となり、間もなく32年になります。開設当初は広い敷地に6階建てのB館（206床）と保育室を併設した医師看護宿舎、そして築山に東屋があり、一見のんびりと見える環境の中で、高度医療、救急医療、開放型病床を3本柱にした医療センターを創り上げて行こうという熱気が随所に感じられる活き活きとした職場でした。技師長職となっての8年は瞬く間に過ぎていきました。この間、患者サービスを中心とした改善計画を実践に移した時、スタッフが快くついてきてくれた事に心から感謝する次第です。生物学と分析化学の手法と原理が基礎をなす臨床検査は私にとって天職であり、医療センターが地域の人々から信頼され発展して来た事に関与出来た事は誇りでもあります。当院の高度急性期病院への邁進と皆様のご活躍を祈念致しております。

副看護局長　佐藤　節子

平成24年9月から勤務し、短い期間でしたがこのたび定年退職となりました。
「船橋市立医療センターは東京ディズニーランドと同じ年に設立されました。病院の理念は…」と看護学生に説明しながら看護師募集活動や勤務環境の改善に取り組んでまいりました。
千葉県の看護師の数は全国でワースト2です。船橋市立医療センターで働く看護師が少しでも辞めずに長く働いてくれたらと願っています。
皆さんに支えられ、良い刺激を受けながらおかげさまで大過なく今日まで勤め上げることができたこと、心より感謝しております。
船橋市立医療センターの更なる発展をお祈り致します。

総務課長（兼経営企画室長）　太田和　進

医療センター総務課に着任して8年、総務課長として4年勤めさせていただきました。その間、病院事業自体が地方公営企業法の全部適用に移行したり、東日本大震災とその後の計画停電を経験するなどいろいろなことがありましたが、業務を全うできたのはこの病院で働く皆さんの協力があってのことと感謝しております。

新任者あいさつ

診療局技監（兼形成外科部長）　薬丸　洋秋

４月より当院の技監を拝命致しました。
当院に赴任して以来約20年間救命救急センター及び形成外科医として勤務して来ましたが、今回は技監という運営に携わる仕事が加わることになりました。
私のような、技術屋には荷の重い仕事とは思いますが、医者だけでなく、医療に携わる人たちが、十分楽しく力を発揮することができるような環境を作るようにしたいと思います。
また患者さんに、「ぜひ医療センターで治療を受けたい。」と言っていただけるような病院になるよう、微力ながら努力をしたいと思います。
病院関係者の方々の意見も聴きながら少しずつ改善していくことができたらと考えています。

看護局長　伊藤　淳子

４月１日付で看護局長を拝命致しました。看護局は、約500名の職員を抱える病院最大の組織です。看護職員一人一人が生き生きと輝き続ける組織を継続させていく重責を強く感じております。看護師は、「患者さんの立場に立ち、専門的な知識・技術に心の調和する看護をめざします」を理念とし、患者さんに最も近い存在として24時間継続して看護しています。高齢化、高度複雑化する医療の繁忙な職場環境の中にあっても、豊かな感性で、患者さん一人ひとりの思いを受けとめ、患者さん自らの生活や生き方を大切にした安らぎのある看護を提供できるように、また、安心で安全な医療を皆様に提供できるように、皆様とチームを繋ぐ存在であり続けられるよう、努力してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

薬剤局長　菅原　克也

４月１日付で薬剤局長を拝命致しました。薬剤局は「個々の患者さんに最適で安全な薬物療法を提供すること」を目標とし、薬が使われるあらゆる場面に関わりたいと考えています。入院患者さんには、病棟担当薬剤師が面談し、入院中から退院そして自宅療養へつながるように薬をご説明します。外来では、専任の薬剤師による、入院予定患者さんの薬剤履歴確認、外来で抗がん剤治療を受ける方へ効果と副作用の説明と相談等を行っています。入院・外来を通じて薬物療養が最適に行われ、「薬剤師がいて良かった」と思っていただけるよう頑張る所存です。よろしくお願い致します。

臨床検査科技師長　高橋　久雄

４月１日付で臨床検査科技師長を拝命致しました。入所以来30年間、病理検査業務に携わり、少しでも臨床へ寄与できればと願い励んでまいりました。
現代社会は超高齢化を迎えるだけではなく、遺伝子などの技術革新が予想され変革の時期を迎えております。そこで、検査科の取り組みとして①遺伝子検査の導入、②開かれた検査室、③ブランディングの構築などを積極的に推進していきたいと考えております。
チーム医療の一員として「患者サービスに徹すること」をモットーに24時間365日の検査体制で高品質な検査を提供してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

副看護局長　武村　妙子

このたび副看護局長を拝命致しました。
当院の看護理念のもと、専門的な知識と技術に優しさと思いやりをのせて、質の高い看護を提供できるよう日々努めております。
根拠に基づいた専門的な看護実践はもとより、患者さんの思いに寄り添い、個々のニーズに応じた看護を提供したいと考えております。
また、当院の役割である救急医療と高度専門医療の提供、がん診療や地域連携の推進など、医療に関わる全ての職種が協働して努力しています。今後もさらにお互いがリスペクトしあい、専門性を活かしながら連携することで、より良い医療を提供できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

卒後臨床研修評価機構の認定を受けました

当院は、NPO法人卒後臨床研修評価機構（略称：JCEP）による第三者評価を受審し、平成27年2月1日付けで認定を受けました。

JCEPは、国民に対する医療の質の改善と向上を目指すため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行い、公益の増進に寄与することを目的とする第三者評価機構です。

今回、当院は「多数の研修医を採用し、院長、プログラム責任者の下で病院全体で研修医を育てようとする姿勢があります。研修管理委員会を中心にして、研修医の採用から、研修、修了に至る過程を適切に管理しています。研修医は優秀な指導医の下、積極的に研修を行い、彼らの満足度も高いものがあります。地域の指導的研修病院としてより一層発展していくことを期待します。」という評価をいただきました。

この評価を受けて、当院の福澤臨床研修部長は「今回JCEPより高い評価いただいたことを受け、今後も、心（Humanity：患者さんの思いを理解し、患者さんに信頼される、豊かな人間性）、技（Art：質の高い安全な医療を実践する臨床技能）、知（Physician Scientist：科学的思考能力と深い知性）をバランスよく兼ね備えた医師を育成していきたいと思っています。」と抱負を述べました。

研修医のつぶやき

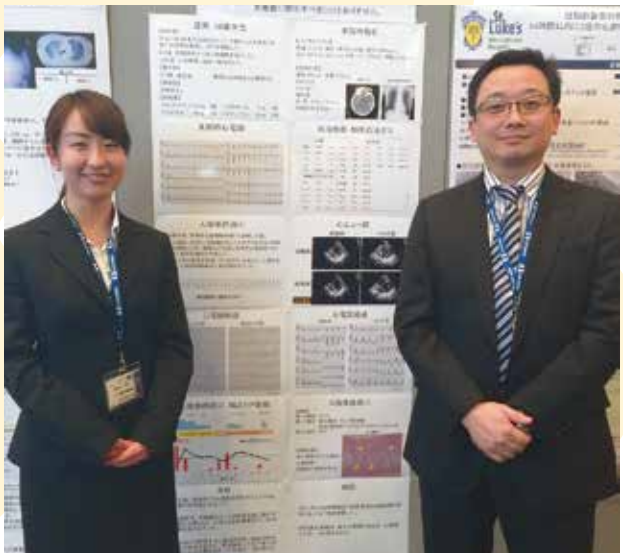
初期臨床研修医２年　大野真理子

昨年の４月から当院で初期臨床研修医として働かせていただき、早いもので１年が過ぎようとしています。上級医の先生方からはもちろん、患者さんからもたくさん学ばせていただき、充実した毎日を送っています。

当院の初期臨床研修プログラムでは、毎週約１回の頻度で勉強会が予定されています。定期的に開催されているものには、初期臨床研修医が症例の発表を行う症例検討会、病理解剖検討会、また各科の上級医による講義があります。それに加えて、内部の先生だけでなく、外部から講師を招いて行うものも不定期に開催されます。

また、学会への参加も推奨されており、発表の機会を与えていただくこともしばしばあります。右は今年の全国集中治療学術集会で発表した初期臨床研修医の写真です。学会発表は医学の発展に貢献するために欠かせないものです。早くからこういった経験をさせていただき、恵まれた環境で研修していると感じます。

このように日常診療はもちろん、勉強会や学会を通じて、学ぶ機会を数多く与えていただいています。技術・知識ともに優れた医師になり、少しでも患者さんや患者さんのご家族に幸せを感じていただけるよう、これからも日々努力していきます。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

特集

栄養面から患者さんをサポート

栄養管理室を紹介します

栄養管理室のスタッフは病院の舞台裏で患者さんの治療を支援しています。今回はあまり知られていない栄養管理室のスタッフが、普段どのようなところで患者さんと接し、どのような仕事をしているのかを紹介します。

Q 栄養管理室には何名のスタッフがいますか？

A 病院職員（管理栄養士）5名、委託職員29名の合計34名がいます。病院職員は栄養管理業務を、委託職員は給食管理業務（献立・食材管理、調理・盛付、病棟までの配膳下膳、食器洗浄）を主に担当しています。

B館1階にある調理室の様子

Q 病院の食事はどのように作られているのですか？

A 当院では1食につき約65種類の献立を、患者さんの意見やアンケートをできるだけ反映させながら作成しています。献立内容は、病院職員と委託職員で常に検討を重ねています。

材料は、どのくらいの数を提供するか予想して、予算内でできるように調整しながら、良いものを数週間前に注文しています。この注文数の予想はとても難しいです。食材が仕入れ業者から届くと、量や品質が適正かを確認し、決められた調理手順や衛生管理に従って調理します。

出来上がった料理は、一人一人の患者さんの名前が書かれた食事のカードを見て、禁止されている食品などを確認しながらトレイに載せ、温蔵庫と冷蔵庫の機能がある配膳車で、患者さんへお届けしています。

治療食の一例（夕食）

Q 栄養食事指導を受けたいのですが、どうしたらよいですか？

A 栄養食事指導には個人指導と集団指導があります。個人栄養食事指導は、原則

食事を楽しむためのアドバイス（栄養食事指導）

として予約制で行っています。集団栄養食事指導は、糖尿病教室（奇数月の第２水曜日）、心臓病教室（毎週木曜日）、腎臓病教室（偶数月の第２水曜日）を開催しています。

栄養食事指導は担当医の指示により、どなたでも受けられますので、医療スタッフにご相談ください。栄養食事指導というと、「あれを食べてはダメ」、「何でもはかりで計量して」、「栄養計算して」というイメージをお持ちの方もいると思いますが、そんなことはありません。患者さんにあまり負担がかからないように、楽しい食生活が送れるようなアドバイスを心掛けています。また、当院に通院していない方でも連携医の紹介により栄養食事指導が受けられます。詳しくは当院のホームページにある「地域医療連携」（http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/district/riyou.html）をご参照ください。

Q 栄養管理業務とは何ですか？

A 栄養の状態が悪いと、傷が治りにくいことや化学療法などの治療を中断しなければならなくなるなど、治療に支障をきたすことがあります。これを未然に防ぐため、入院時に医師・看護師から低栄養となる危険性の高い患者さんを報告してもらい、食事調整を行っています。栄養が不足している方や治療中（抗がん剤治療や手術、放射線療法など）の方に対しては、個々の病態に応じた適正な栄養量を考えて、当院で提供できる最適な食事内容を提案します。また、病態によって栄養の供給方法を口から食べていただくのか、鼻から管を入れさせていただくのか、点滴にするのかを考え、さらに糖質やたんぱく質などの適切な量やそれぞれの栄養成分を予想し、それが身体で利用できているのかや、体重測定や検査結果などを見た上で、その量で正しいのかなど、病気の状態や薬なども考慮しながら、他の医療スタッフとともに検討しています。

栄養管理室のスタッフは他の医療スタッフとチームを組んで、患者さんの治療にあたっています。栄養管理室のスタッフと関わりのある職種の方々に、栄養士と一緒に治療することによるメリットを聞いてみました。

医師は病気を治療するのが仕事ですが、薬を投与したり手術をしたりするだけではなく、患者さんの栄養状態を良くしたり、維持したりすることも重要です。特に長期の入院になると、栄養状態は治療経過にも影響します。ただ、診療が忙しく手が回らないこともあり、その時の患者さんに一番良い食事内容、好み、栄養投与方法などを細かく考える時間がないこともあります。そんな時、栄養士に相談すると、「こんな栄養食品がありますよ。」と教えてもらえたり、実際に病棟に来て患者さんの話を聞いてくれて、「こんな味付けが好きみたいです。」などのアドバイスをいただけるので、非常に助かっています。 **外科　佐藤やよい**

栄養士は褥瘡（じょくそう）対策チームにはかかせないメンバーです。床ずれ（褥瘡）を治していく上では、病院のさまざまな職種の人がチームを組んで関わることが重要と言われており、医師、看護師、理学療法士などの他に、栄養士がとても大切な役割を担っています。床ずれは、動けない、食べられない、痩せている方にできやすく、看護師が普段の食事量や食べ方を見て栄養士に相談し、食事の種類や食べ物の固さなどを医師に変えてもらうことがあります。また、床ずれの治療に必要な栄養をどうやって摂るかを考えてもらっています。「食べる」ことによって元気になり、床ずれが治っていく患者さんを何人も見ています。 **看護局　大塚眞由美**

栄養管理室ではその他にも市民講座などの講演活動、院内や他病院の医療従事者、企業や学校との研究事業、各種学会への参加、栄養士養成校の病院実習の指導などを行っています。また、すでに取得しているスタッフもいますが、糖尿病療養指導士、NST（栄養サポートチーム）専門療法士など、今後もさまざまな資格の取得を目指し、最新の情報に基づくより良い医療を提供できるように自己研鑽しています。

第21回 公開医療講座

「大型医療機器の昔と今 ～進化が止まない放射線関連装置技術～」を開催しました

1月22日（木）に市民文化創造館（きらら）にて、小野寺敦放射線技術科技師長を演者として公開医療講座を開催しました。

講演では放射線を利用した画像撮影が医療分野でどのように発展してきたのかを紹介するために、当院で行っているＣＴ、ＭＲＩ、ＲＩ、血管撮影、放射線治療機器などで、それぞれどのような診断や治療ができ、昔と今では性能にどのような差があるのかなどを実際の画像を使い、分かりやすく説明しました。小野寺技師長は「昔も今も検査目的はほとんど変わりませんが、機器の進歩により、短時間化、低被ばく化、低侵襲化が急速に進んだうえ、疾病によって診断機器を選択するなど、役割分担が進んできました。これからの機器進化は、高齢社会を支える最新医療技術が目的となり、役割分担から役割の融合に向かっていくと思います。ただ、最新医療機器の導入には高額な費用がかかり、機器の進化も非常に速いため、現在備えている機種の能力を最大限に活かしつつ、新たな機器の導入には時期等の見極めが重要であると考えています。」と語りました。

講演中は、メモを取りながら熱心に聞いている方が多く見受けられました。

第8回 がん市民公開講座

「通院で行うがん治療と外来化学療法室の役割」を開催しました

3月1日（日）にがん市民公開講座を市民文化創造館（きらら）にて開催しました。第8回目である今回は「通院で行うがん治療と外来化学療法室の役割」をテーマとし、平野聡腫瘍内科部長、宮本麻子がん化学療法看護認定看護師、岩田可奈恵がん薬物療法認定薬剤師の３名が講演しました。

通院で行う化学療法の利点は、住み慣れた自宅で家族と日常生活を送りながら治療を続けられることです。病状にもよりますが、仕事を続けながら治療を行うことも可能です。外来化学療法室というのは通院で行う抗がん剤治療専用の部屋で、当院にも13人の患者さんが同時に治療できる外来化学療法室が設置されています。リラックスして治療を受けることができるようにテレビ付きのリクライニングチェアーやベッドが準備されており、またプライバシーが守られるように配慮されています。がん治療を専門とするスタッフ（医師、看護師、薬剤師）が緊密に連携しており、安心して治療を受けられます。

当日は100名を超える参加者があり、当院の担当スタッフがそれぞれの立場で分かりやすくお話ししました。

病院ボランティア（患者さんの案内や図書の整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで

TOPICS

救命救急センターの現場から
～急性冠症候群（ACS：Acute coronary syndrome）～

心臓に酸素や栄養を送っている血管を冠動脈と呼びます。この冠動脈が動脈硬化のため狭くなり血液の流れが悪くなったり、血栓が出来て血流が途絶えてしまったりする病気を急性冠症候群と言います。具体的には狭心症や急性心筋梗塞と呼ばれる疾患です。

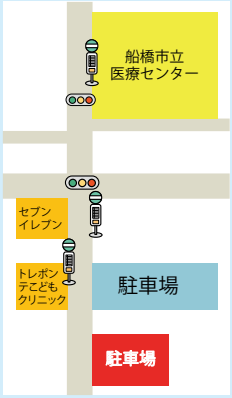
ドクターカーの出動基準の一つに1）35歳以上、2）胸痛、3）冷汗をかいている患者さんという項目があります。この基準は急性冠症候群の患者さんを現場で早期に診断して、治療可能な病院を選定するために設けています。日本では現場で十二誘導心電図をとっている救急隊はほとんどありませんが、ドクターカーはこれを実施し、現場で急性冠症候群と診断した場合は、早期に狭くなった冠動脈をカテーテル治療で広げたり、詰まった血栓を溶かしたりすることが出来る病院に搬送します。冷汗をかくようなひどい胸痛、また胸痛以外でも、歯が痛い、頚（くび）が痛い、顎（あご）が痛い、左肩が痛い等と訴える患者さんもいます。ここが痛いと場所を指し示すことが出来ないような胸部全体の重苦しさなどがある時は迷わず119番通報してください。急性冠症候群の場合、致死的不整脈という全身に血液が送れなくなるような重篤な不整脈が起きる可能性があるため、自分の車で病院に行っては行けません。

途絶えた血液の流れを出来るだけ速く回復させればさせるほど死んでしまう心臓の筋肉を少なくすることが出来ます。Time is Muscleと呼ばれるほど、時間との闘いの病気なのです。

救命救急センター長　**境田　康二**

日本赤十字社から表彰!!

当院では職員に対し献血への協力を呼びかけ、院内で献血できる機会を年3回設けています。今回、当院が多年にわたり赤十字事業に貢献し、積極的に献血に協力してきた功績が認められ、日本赤十字社から銀色有功章をいただきました。



駐車場が利用できるようになりました

工事終了に伴い、赤く表示した駐車場が利用できるようになりました。

工事期間中は大変ご迷惑をお掛けしました。

平成27年度 募集概要

看護師(正規・パート)募集

- ●資　格／看護師・助産師免許をお持ちの方又は、28年３月までに取得見込みの方
- ●募　集／看護師・助産師（正規・パート）
- ●休　日／４週８休制

看護補助者(パート)募集

- ●資　格／特になし
- ●勤務時間等／８～18時のうち当院が指定する８時間（実働７時間、休憩１時間）
  土日祝日、年末年始を含む週５日

※詳細は当院ホームページ（http://www.mmc.funabashi.chiba.jp）をご覧いただくか、総務課庶務班までお問い合わせください。

※看護職を対象とした病院説明会を開催しています。当院ホームページをご覧ください。

船橋市立医療センター　　電話番号 047-438-3321㈹

外来担当医師一覧表

平成27年4月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	嶋田紀子・〔交替医〕	前川　祐子	下山　立志	中村俊介・前川祐子	巴山紀子・〔交替医〕	新患の㈭は第１・３・５中村、第２・４前川 消化器の㈫の水本、㈬の安藤、㈭の関、㈮の小林は予約患者のみ 腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
	呼吸器	中村　祐之 柳澤　麻子	天野　寛之 中村　純	多部田弘士 巴山　紀子	中村　祐之 中村　純	多部田弘士 天野　寛之	
	消化器	水本　英明	水本　英明 関　厚佳 興梠　慧輔	安藤　健 東郷　聖子	水本　英明 関　厚佳	小林　照宗 安藤　健 石垣　飛鳥	
	代謝	岩岡　秀明	下山　立志	中村　俊介	下山　立志	岩岡　秀明	
	腫瘍	平野　聡				平野　聡	
心臓血管センター	循環器内科 予約	内山　貴史 稲垣　雅行	福澤　茂・黒岩信行 沖野　晋一	前川　潤平 稲垣雅行・内山貴史	黒岩　信行 市川壮一郎	福澤　茂 前川　祐子	※㈬は第１・３・５稲垣、第２・４内山
	循環器内科 新患	前川　祐子	〔交替医〕	〔交替医〕	関根有希子	沖野　晋一	
	心臓血管外科	〔手術日〕	髙原善治・茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から　※第1・3・5髙原　※第2・4　茂木
緩和ケア内科				〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～　予約患者のみ
精神科		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要（電話も可）
小児科		木谷　豊 竹本　直輝	佐藤　純一 内山　薫	丹羽　淳子 斉藤　裕子	木谷　豊 白鳥恵理佳	伊賀　裕子 坂井　美穂	
外科	消化器・一般	宮崎　彰成 吉岡　隆文	渡辺　義二 夏目　俊之 佐藤やよい	丸山　尚嗣 野手　洋雅	田中　元 仙波　義秀	宮崎　彰成	㈪松崎　午前のみ ㈬吉原　午後のみ
	乳腺	松崎　弘志		松崎　弘志 吉原ちさと		唐司　則之 松崎　弘志 金田　陽子	
	新患	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
整形外科		〔交替医〕 橋本　瑛子 〔手術日〕	池之上純男 高瀬　完 染谷　幸男	三村　雅也 鮫田　寛明 新保　純	〔交替医〕 〔手術日〕	〔交替医〕 〔手術日〕	㈫・㈬は予約患者のみ （紹介状ありは可）
形成外科		〔手術日〕	薬丸　洋秋	薬丸　洋秋	〔手術日〕	後藤　広和	
脳神経外科		内藤　博道 唐澤　秀治 新美　淳	唐澤　秀治 〔手術日〕	畑山　和己 唐澤　秀治 鈴木　孝典	安間　芳秀 唐澤　秀治 〔手術日〕	根本　文夫 唐澤　秀治	
呼吸器外科		内田　修 一ノ瀬修二	内田　修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	木下　孔明 〔交替医〕	〔手術日〕	㈭は内田・一ノ瀬が交替
皮膚科		大田　玲奈 川島　秀介	大田　玲奈 宮川　健彦	大田　玲奈 金親　香子	宮川　健彦	〔手術日〕	予約患者のみ （紹介状ありは可）
泌尿器科		武田　英男 黄　和吉	佐藤　信夫 樋口　耕介	佐藤　信夫 〔手術日〕	佐藤　信夫 安藤　敬佑	佐藤　信夫 〔交替医〕	
産婦人科		斉藤　俊雄 名古ゆり恵	名古ゆり恵 〔外来診察医〕 〔手術日〕	斉藤　俊雄 佐川　泰一 〔手術日〕	長嶋　武雄 〔外来診察医〕	佐々木直樹 長嶋　武雄 〔手術日〕	
眼科		小林　悠里 谷口　有子	松枝　美文 〔手術日〕	松枝　美文 〔手術日〕	小林　悠里 小林　晋二	小林　晋二 谷口　有子	㈫・㈬は予約患者のみ （紹介状ありは可）
耳鼻いんこう科		小林　皇一 堀中　敦史	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林　皇一 堀中　敦史	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林　皇一 堀中　敦史	㈭は新患のみ
放射線治療科		東ヶ崎厳太郎	有賀　隆	酢谷　真也	有賀　隆	有賀　隆	完全予約制
麻酔科		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:00～11:00　予約患者のみ
歯科口腔外科		村野　彰行	永塚啓太郎・村野彰行	村野　彰行	肥後盛洋・村野彰行	村野　彰行	
特殊外来	女性専用（内科）			古池　織恵			予約患者のみ
	腎臓内科（内科）		小川　真				午後1:30～予約患者のみ 第1週のみ（電話も可）
	神経内科（内科）			長谷川樹里			午後1:30～　予約患者のみ（電話も可）
	ステントグラフト外来（心外）		桜井　学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器（小児）	佐藤純一・〔交替医〕 斉藤　裕子	村社　歩美	佐藤　純一			午後　予約患者のみ　㈫は第2・4
	小児神経（小児）				林北見・牧野道子		午後　予約患者のみ　月1回
	小児腎臓（小児）				秋岡　祐子		午後　予約患者のみ　月2回
	小児外科（外科）				光永　哲也		
	脳神経内科（脳神経外科）					東　美和	午前9:30～　予約患者のみ
	メモリークリニック（脳神経外科）		唐澤　秀治		唐澤　秀治		

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓の予約および予約変更は午後２時から４時の間に小児科外来へ電話してください。